

実践教育訓練学会

第5回建築設計競技

1. テーマ 「サステナブル住宅」

2021年のノーベル物理学賞は、気象学者である眞鍋淑郎氏が受賞した。眞鍋氏は、大気と海洋の循環の関係を気候変動モデルとして開発し、今では誰もが知っている温室効果ガスに着目して地球温暖化現象が私たちの未来の生活を脅かすことについて警鐘している。

持続可能性（サステナブル：Sustainable）について議論されてから久しくなるが、このサステナブルを検討するときに欠かせないのが、この地球温暖化である。2015年9月の国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓い、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、SDGs（Sustainable Development Goals）が提唱された。これらのことが、自動車産業にも大きな影響を与え、世界の自動車メーカーが化石燃料から脱却し、大きく温室効果ガス排出実質ゼロへ舵を切り始めている。その結果、産業構造も変わることが予想される。

私たちが携わる建築・建設産業はどうだろうか。サステナブルな社会、住環境を実現するため私たちにできることはたくさんあるはずである。これまで培った歴史、現代社会、コミュニティ、建築技術、生活の工夫など、普段見慣れている世界をもう一度再確認し、未来へと続く住宅を提案して欲しい。

（審査委員長：和田 浩一）

2. 審査委員

審査委員長

職業能力開発総合大学校 能力開発院 教授 和田浩一

審査委員

東北職業能力開発大学校 住居環境科 特任教授 星野 政博

山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科 教授 江川 嘉幸

九州職業能力開発大学校 建築施工システム技術科 教授 磯野 重浩

協賛企業 各社様

3. 表彰

1等 実践教育建築デザイン賞
副賞 協賛企業 各社様より贈呈
1万円 QUO カード

2等 (協賛企業賞)
協賛企業 各社様名で設定し、賞状と副賞を贈呈

※各入賞者には、埼玉大会（ものづくり大学）で行われる 2022 実践教育研究発表会（以下、発表会）において表彰し、発表会でプレゼンテーションをして頂きます。入賞作品ごとに1名の旅費を支給します。

優秀作品 20 点を選抜し、発表会において展示します。

2022実践教育研究発表会開催概要

会期： 2022年8月19日（金）～20日（土）

（プレゼンテーション・表彰日： 8月19日（金）午後（全体交流会の前）

4. スケジュール

WEB エントリー 2022年4月1日（金）～6月24日（金）

<http://www.jissen.or.jp/>

エントリー時に必要な情報

応募者（グループで応募する場合は代表者）の住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、学校（施設）名、連絡が取れるメールアドレス、使用ソフト（2等のメガソフト株式会社賞の要件となるため）

※WEB エントリー完了後、登録完了のメールが送られます

作品締め切り 2022年7月1日（金）（PDF の電子投稿）

作品提出先：

(1) jissen.compe@gmail.com （25MB 以下）

(2) 無料大容量ファイル転送サービスを使って上記アドレスに送付することも可能。

入選者発表 2022年7月末

（一社）実践教育訓練学会のHPで発表すると同時に、入賞者にはメールにてお知らせします。

5. 応募資格

(2022年4月1日現在)

一般大学・大学院学生

高等専門学校学生

職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生

専門学校学生

工業高校生徒

※1グループ 4人以内

6. 審査

審査は、審査委員による作品評価を行います。公開審査は行いません。

7. 提出図面

A1版 横使い 1枚 (25MB以下)

各図面の縮尺は自由

8. 作品条件

(1) 敷地面積：200㎡以下

(2) 最高高さ：12m以下

(3) 建ぺい率の制限：60% 容積率の制限：150% (地階・駐車場の容積率の緩和を使っても良い)

(敷地面積、建ぺい率、容積率、最高高さについては、作品の中に明記すること)

(4) 用途地域や斜線制限などの建築法規は考慮しなくても良い

(5) 敷地のロケーションは、具体的にイメージできる場所を自由に設定する

(6) 建物の構造は、自由

9. 質疑応答

課題に関する質疑応答は行いません。本要項に定める内容以外の問題は応募者の自由とします。

10. 注意事項

・応募作品は未発表のものに限ります。

・同一作品の他設計競技との二重応募は、受け付けません。

・事前にWEBエントリーフォームから登録を行ってください。

・応募作品の一部あるいは全部が、他者の著作権を侵害してはなりません。また、雑誌や書籍、ウェブサイトなどの著作物を許可なく使用してはなりません。

- ・著作権侵害のおそれがある場合は主催者の判断により入賞を取り消すことがあります。
- ・応募作品（PDF）は返却しません。
- ・本設計競技の応募作品に関する著作権は応募者に帰属します。応募作品の（一社）実践教育訓練学会HP やジャーナル掲載、協賛企業 HP へのリンクなど、発表に関わる権利は主催者及び協賛企業が保有します。
- ・本設計競技において取得した個人情報は、主催者と協賛者が共有します。本設計競技の運営以外には使用いたしません。また、第三者に譲渡や転売はいたしません。

11. 建築デザイン設計競技事務局

（一社）実践教育訓練学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13

ユニゾ小石川アーバンビル4F 学会支援機構内

TEL 03-5981-6011

12. 協賛企業

未定